



きょうたんて

vol.85

主な内容

フォトグラフ 成人式に593人が出席

- ・東北地方太平洋沖地震 全力で震災被災地を支援
- ・職員人事異動 ほか

2011
平成23年
4月号



被災地へのメッセージを述べる清水彩加さん



東北関東大震災の被災者への義援金を募る新成人



開式に先立ち、全員が黙とう

今被災地にいる 二十歳の皆さんへ (抜粋) 清水彩加さん

地震は一瞬にして文明を破壊しました。道路を壊し、町を壊し、そして大切なそれぞれの故郷やかけがえのない家族を奪いました。

「普通の生活がどれほど幸せだったか…」波に流されて家を失った幼い女の子の言葉が、私の胸に突き刺さりました。

二十歳になった私は、もう少しすれば看護師として、命の現場に飛び込んでいきます。確かな医療技術を身につけ、さまざまな困難にも立ち向かえる勇氣を持ちたいと思います。

被災地にいる二十歳の皆さんも絶対に諦めないでください。私たちは心をひとつにして皆さんのことを応援しています。希望を胸にこの危機を乗り越えましょう。

一日でも早く、一人でも多くの人に笑顔が戻ってきますように願っています。

はたち 二十歳の抱負

カッコ内は出身地



「世界の先頭を走るエンジニアになりたい」

高野 貴仁さん (網野町郷)



「責任を持ち行動する」

北垣 翔平さん (久美浜町河梨)



「旅行会社で働きたい」

西田 麻美さん (大宮町三坂)



「カッコいい社会人になって、一人前になりたい」

和田 亮輔さん (久美浜町三谷)

「就職したい!!」

吉田 理恵さん (峰山町新治)

フォトグラフ

成人式に593人が出席

平成22年度京丹後市の新成人は743人

新成人の門出を祝う「京丹後市成人式」が3月20日、府丹後文化会館(峰山町)で開催されました。22年度の新成人は、743人(男性381人、女性362人)で、うち593人が式典に出席しました。

その後、守山駿平さんと中江恵美さん(表紙・目次下段)が二十歳の主張を力強く発表。清水彩加さん(久美浜町)が、この地震の被災地にいる新成人に向け、絶対に諦めないでください。私たちは心を一つにして応援しています」とメッセージ(左上)を送りました。

目次

index

フォトグラフ
成人式に593人が出席 P 2

市政トピックス P 6
全力で震災被災地を支援／くみはまSAN-KAIKAN「道の駅」に登録／ほか

市政ガイド P 8
職員人事異動

まちのわだい P 12
ボランティアなど200人が琴引浜に松を植樹／久美浜・湊地区の名所22選に標柱設置／ほか

京都府のひろば P 14

健康だより P 15

消防の広場 P 16
消防統計2010

みんなの広場 P 18

情報ファイル P 20
京たんごスポーツ／生命の絆／市の文化財／図書館だより／広報クイズ／ほか

京丹後人 12 P 24
「酒肴もん屋」(丹後町)

今月の笑顔 二十歳の主張発表者

2人の「二十歳の主張」の要旨を紹介します。



守山 駿平さん (網野町網野)

今こうして羽織はかまに身を包み、成人式を迎えられていることを誇らしく思います。

僕たちはもう二十歳です。夢を追いかけた果てに何があるのかを見つけどききました。京丹後市の皆さん、これからの僕たちを見てください。「ゆとり世代」で育った僕たちがどこまでやれるかを。きっと何か新しい風を、ここ丹後に吹かせてみせます。

中江 恵美さん (丹後町徳光)

二十歳になって、バスガイドの仕事のほかに、休みを利用して福祉施設のボランティアスタッフとして働いたり高校生から社会人まで楽しめるサークルに入ったりしました。その中で、人の温かみを肌で感じることができました。

このたくさんの経験を今後に生かして、年を重ねる中で、いつか笑顔と笑顔が交わっていくこと、生み出すことを仕事にしたいです。



表紙企画「今月の笑顔」に登場していただけるかたを募集しています。ご希望のかたは広報係(☎69-0110)までご連絡ください。





「道の駅」に登録された「くみはまSANKAIKAN」(久美浜町浦明)

道の駅は、休憩機能、情報発信機能、地域の連携機能の3つの機能を併せ持つ休憩施設。国土交通省が認定し、全国に970カ所ある。



くみはまSANKAIKAN

同施設は、生産者と消費者の交流、都市農村交流、地産地消の推進などの拠点として、平成11年、旧久美浜町やJAなどが開設。現在は(株)くみはまが指定管理者として運営しており、地元農家などが生産した農林水産物や地酒など、地域の特産物を販売しています。

久美浜町浦明の総合交流販売施設「くみはまSANKAIKAN」がこのほど、国土交通省が認定する休憩施設「道の駅」に登録されました。

交流 くみはまSANKAIKAN「道の駅」に登録

地元特産物をPR 交流人口の増加に期待

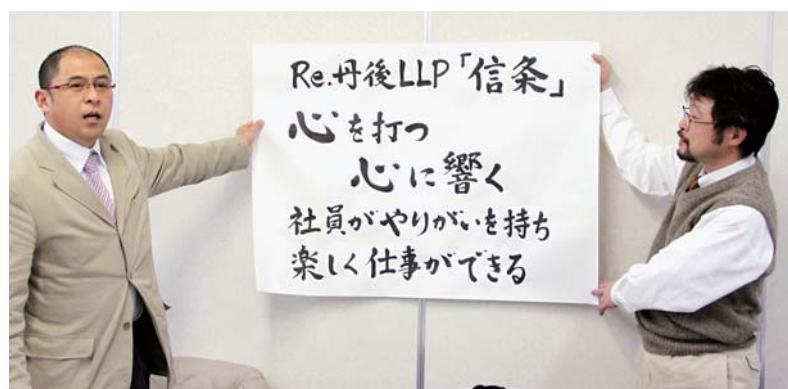
産業 ICTを活用して販売管理システムを構築

丹後産品を「ぐるなび」で販売

丹後地域地場産業振興センター(網野町)は、情報通信技術(ICT)を活用し、丹後地域の農林水産物などを集めてグルメ情報検索サイト「ぐるなび」で販売する「丹後産品集積活性化事業」に取り組んでいます。総務省の「情報通信技術地域人材育成・活用事業交付金」を受けて行う事業で、交付額は1億3,000万円。

集荷や販売の管理システムを同センターが構築し、商品の受注・出荷などは地元農家などをつくる「Re.丹後有限責任事業組合」に業務委託。同組合の橋本幸憲代表は「23年度は1～2億円の売り上げを目指す」としています。

同組合では、事業に協力してもらえる生産者を募集しています。詳しくは、丹後地域地場産業振興センター(☎72-5261)まで。



Re.丹後有限責任事業組合(LLP)の運営方針を発表する橋本代表(右)ら



消防団協力事業所表示マーク

消防

消防庁の「消防団協力事業所」に府内初認定 日進製作所とマルキ建設の2社

消防団活動に協力している事業所を顕彰する、消防庁の「消防団協力事業所表示制度」で、日進製作所(峰山町千歳)とマルキ建設(大宮町周知)の2事業所が認定を受けました。

同制度は、近年消防団員のサラリーマン化が進む中、地域の消防活動のためには事業者の理解が不可欠なことから、協力的な事業所を顕彰するもの。今回の認定は従業員数に対する団員の比率の高さなどが評価されたもので、府内では初めての認定となります。

毎月15日は「京丹後市・防犯の日」

家や自転車のカギかけなどの身近な防犯対策について、再度確認してくださいね。



災害支援

東北地方太平洋沖地震 東日本を襲う

全力で震災被災地を支援

3月11日午後2時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生、東北地方などに甚大な被害をもたらしました。これを受けて、市は消防職員らで組織する救援隊や市職員ら給水支援隊の派遣、救援物資の提供などあらゆる方法で被災地を支援。今後も、被災地の一刻も早い復興を願い、全力をあげて応援していくこととしています。

発生5時間で救援隊を派遣

地震発生から約5時間後の3月11日午後7時、市消防職員5人が現地向け出発。京都府内他地域の救援隊とともに、主に宮城県南三陸町だけが人などの救助活動



給水車を派遣し被災者を支援(岩手県大槌町で3月19日午前11時)

折り込みチラシで最新情報を提供

本市の取り組み状況や今後の支援方針など最新の情報を、新聞朝刊の折り込みチラシで適宜お知らせしています。

救援物資については、被災地で必要とされる物資は状況に応じて変わるため、被災地からの要請に基づき品目を限って募集しています。チラシの内容をよくご確認の上で協力ください。

◀3月19、26日の折り込みチラシ



図市災害支援対策本部事務局(総務課内・☎69-0140)
市ホームページ: <http://www.city.kyotango.lg.jp>

を展開しました。その後、人員を交代しながら懸命な救命活動が続いています。

3月16日早朝には、市職員4人と給水車を現地に派遣(左写真)。岩手県盛岡市を拠点に、被災者への給水支援を行いました。

米8千キロなど大量の物資を輸送

市は地震発生の翌日から市役所各庁舎、福祉事務所などに募金箱を設置。10日余りで500万円を超える義援金を市民の皆さんからいただきました。

また、福島県相馬市からの緊急要請を受け、3月17日に市民の皆さんからの救援物資の受け入れを開始。

大量の物資が寄せられ、同月19日に職員らが相馬市に輸送。3月25日までに3便にわたり輸送し、届けた物資は、白米8257キロ、タオ2841枚、毛布263枚のほか、カイロや食料、衣服など多数に及びます。

被災者を受け入れる住宅を募集

市では、被災者が市営住宅や公共宿泊施設に入居できるようにしているのに加え、市内の空き住宅や杜宅を無償貸与していただけるかたを募集。被災者の受け入れ体制の確保に努めています。

募集要件など詳しくは、市ホームページなどでご確認ください。



ホームページに掲載している各地区の紹介

市民協働課（☎69・0240）

「ふるさと京丹後・地域を紹介」
http://www.city.kyotango.lg.jp/shisei/furusato/kyodo/chiki

「ふるさと京丹後・地域を紹介」

まだ掲載地区は少ないですが、今後、市内全地区の掲載を目指していくこととしています。掲載を希望する地区のかたは、市民協働課までお問い合わせください。

市ではこのほど、市ホームページ上に、各地区の概要や独自の取り組みなどを地区の住民自らが発信・掲載する「ふるさと京丹後・地域を紹介」コーナーを新設しました。

さまざまな情報を発信してもらい、各地区の取り組み・特色などのPRを進めることが目的。各地区独特の祭りや伝統、産業などを、写真やイラストを交えながら分かりやすく紹介しています。

協働 市HPに地域紹介コーナー新設 地区の伝統や活動を発信



市長に答申書を手渡す小西会長（中央）と梅田副会長（右）

市民 男女共同参画審議会が研究・審議 計画案などの審議結果を答申

京丹後市男女共同参画審議会（小西恭子会長・15人）は3月7日、市が諮問していた「市男女共同参画計画（後期）案」および「市男女共同参画条例案」の審議結果を取りまとめ、中山市長に答申しました。

同計画は平成18年の策定から5年が経過。市はこの間の施策の実施状況などを踏まえて計画を見直し、併せて条例を制定するため、22年9月、同審議会に諮問。審議会が6回にわたる研究・審議し、このほど答申したものです。

後期計画案は、重点目標に「ワーク・ライフバランスの推進」「生活支援・在宅福祉対策・保育支援の推進」を挙げるなどとしています。

市は答申案を基本として、条例の制定を目指して取り組んでいきます。



燃費計を見ながら、アクセルの踏み方などを指導する小林さん（写真奥）

その後、参加者は実車教習でエコドライブを実践。「意識しないとなかなかできないので、これからも心がけていきたい」と話していました。

「エコドライブ講習会に17人」
アグリセンター大宮（大宮町）で3月22日、市内事業者を対象とした「エコドライブ（低燃費な運転）」講習会が開催され、参加者17人が環境に優しい車の運転技術を学びました。

財団法人省エネルギーセンター（東京都）の小林紀さんが講演し、「発進するときは一気にアクセルを踏まず、緩やかに加速する」「前方の状況に注意して、赤信号が見えたらアクセルから足を離して惰性で走行」など燃費を良くするコツを説明。「エコドライブを習慣づけることでコスト削減が期待できるほか、企業のイメージアップにもつながる」と積極的な導入を呼び掛けました。

環境 エコドライブ講習会に17人 事業者ら低燃費運転を学ぶ



会場を笑いに包んだ辛坊さんの講演（アグリセンター大宮で）

〈講座内容などのお問い合わせ先〉
丹後地域職業訓練協会
（☎68・0365）

接する府立丹後勤労者福祉会館と峰山地域公民館（峰山町）で職業訓練事業を継続。簿記講座など既存のものに加え、グラフィックデザインなど、専門性の高い講座を新設します。

同協会は「センターの『施設』は廃止されるが、引き続き丹後地域の皆さんのニーズに合った職業訓練機会を提供していく。中小企業従業員や求職中のかたに、スキルアップに活用してもらいたい」と話しています。

「現代は、インターネットを通じて、誰もが自分の意見を全世界に発信できる時代」とした上で、「私

き、『しゃべる』よりも『聞く』ほうがはるかに難しいことにふと気付いた。それを常に意識することで、どうすればちゃんと伝わるのかを考えながらしゃべれるようになった」と話しました。

商工 商工会法施行50周年を記念し、3月24日、アグリセンター大宮（大宮町）で、元読売テレビ報道局解説委員長の辛坊治郎さんによる講演会（市商工会主催）が行われました。

商工 辛坊治郎さん 笑い交え持論語る 商工会法施行50周年記念講演会

独立行政法人「雇用・能力開発機構」の丹後地域職業訓練センター（大宮町河辺）が平成23年3月末で廃止されるのを受け、丹後地域職業訓練協会（理事長・中山京丹後市長は、23年4月から別の2施設に場所を移して職業訓練事業を維持・継続することを決めました。

雇用 丹後地域職業訓練センター 職業訓練 市内2カ所で事業を継続

丹後地域職業訓練センター

できました。

しかし、平成21年12月、国の『事業仕分け』により廃止の方向へ。22年8月には機構からセンターの無償譲渡が本市に提示されたものの、市は「維持費が高額になるうえ、国の責任と財源措置が不明確」として拒否。また、府市長会や全国市長会で議題にあげ、国への重点要望事項に盛り込むなど、関係機関が一丸となってセンターの存続を強く要望してきました。ところが、23年2月23日、センターの廃止が正式に決定しました。

この4月からは、同センターに隣



新たに協定を結び、引き続き連携して集落の維持・活性化に向けて取り組むことを誓った関係者ら

協働 集落の維持・活性化へ 集落と大学が第2次連携協定

連携して集落の活性化に向けた取り組みを進めている、市内3集落と京都市内の3大学がこのほど、引き続き連携していくための「ふるさと共援組織第2次協定」を結びました。

丹後町上山、同町矢畑、久美浜町甲坂の3集落では、平成20年度から京都大学、立命館大学、龍谷大学（いずれも京都市）と連携して、環境整備など集落の維持・活性化に向けた取り組みを行ってきました。

22年度末に協定期間が満了するものの、各集落や大学から「引き続き連携して活動したい」との声が多数に上り、再度協定を結ぶこととなりました。今後は期間を定めずに連携していくこととしています。

3月17日には協定書の調印式が市役所で開かれ、関係者らが今後の活動について意見を交わしました。



全職員の配置については、市ホームページ (http://www.city.kyotango.lg.jp)に「京丹後市職員名簿」を掲載しています。

●健康長寿福祉部

	部長	○中村 悦雄（生活福祉課課長）
	理事	○中村八寿子（長寿福祉課課長補佐） 〔生活福祉課長兼務〕
	参事	○谷口 幸作（普及推進・料金課課長）
生活福祉課	課長補佐	○岸田 豊広（生活福祉課） 田宮 均（税務課） 松川 秀之（財政課） 西 智宏（税務課） 岡下慎太郎（新規採用）
障害者福祉課	課長補佐	○野村 俊彰（障害者福祉課） 小谷美保子（長寿福祉課） 大門 友美（管財・収納課）
長寿福祉課	課長補佐	川戸 泰博（総務課課長補佐） 志水 直美（網野市民局） 佐川 清隆（人事課）
健康推進課	課長補佐	○金木 泰憲（税務課） 永井千映子（新規採用）
保険事業課	課長	○山形 健一（税務課課長補佐）
	課長補佐	木村 裕一（情報政策課課長補佐） 中道 洋介（生活福祉課） 井上 尚美（新規採用）

●医 療 部

	部長	○梅田 純市（医療政策課課長）
医療政策課	課長	○渡邊 歩（秘書広報広聴課課長補佐） 小森 教正（産業雇用総合振興課）

●農林水産環境部

農政課	課長	○小森 康弘（農政課主幹）
	主幹	○荻野 正樹（市民協働課課長補佐） 下戸 裕子（産業雇用総合振興課） 堀江 亮平（新規採用）
農林整備課	課長	○増馬 孝之（農林整備課課長補佐）
	課長補佐	古村 真（大宮市民局局长補佐）
	課長補佐	○河嶋 英一（下水道整備課） 橋 恭平（海業水産課）
海業水産課	課長補佐	○岡野 勲（海業水産課） 溝尻 尚敏（産業雇用総合振興課） 野村 尚子（管理課）
環境バイオマス推進課		中村 孝幸（社会教育課） 松本 優（農政課）

●保 育 所

吉原保育所	所長	山添由美子（峰山保育所所長）
五箇保育所		寺田 浩子（口大野保育所）
長岡保育所		下田 恵美（新規採用）
新山保育所		澤田理絵子（網野保育所） 吉岡 眞弓（網野みなみ保育所）
丹波保育所	所長	○多賀野博子（網野保育所）
口大野保育所		田中 靖子（網野幼稚園）
大宮南保育所	所長	安達 京子（丹波保育所所長）
	所長補佐	○渡利 秀子（丹後幼稚園） 高田 悦美（網野保育所） 野木真紀子（新規採用）
善王寺保育所		松岡 尚美（五箇保育所）
網野みなみ保育所	所長補佐	○高杉 弘子（善王寺保育所） 小森 路子（峰山保育所） 廣瀬久美子（新規採用） 堀江 淳子（網野保育所） 小倉 典子（新山保育所）
浅茂川保育所	所長	○柴田 淳子（新山保育所） 東 由美子（神野保育所）
島津保育所		谷岡 朝子（宇川保育所） 川口 優美（新規採用）
たちばな保育所		水口 智美（浅茂川保育所）
丹後保育所	所長	小森 敦子（浅茂川保育所所長） 〔丹後幼稚園園長兼務〕
		吉岡 里美（和田野保育所）
宇川保育所	所長	松井 千鶴（吉野保育所所長） 小倉 博美（網野みなみ保育所）
和田野保育所		小野崎美環（島津保育所）
鳥取保育所	所長	○蒲田 和子（島津保育所）
吉野保育所	所長	○本城 朝子（大宮南保育所所長補佐）
久美浜保育所	所長	小谷 伸子（吉原保育所所長） 藤野 雪子（網野みなみ保育所） 奥田 美穂（新規採用） 丸岡眞理子（網野保育所）
神野保育所		中島 康乃（峰山保育所）
こうりゅう保育所		小村 佳世（網野保育所） 小西ゆかり（新規採用） 柴田真美子（久美浜保育所）

●市 民 部

	理事	○東 和彦（丹後市民局长） 〔丹後市民局长兼務〕
市民課	課長補佐	坪倉 啓子（会計課課長補佐）
	課長補佐	○大江 裕（市民課） 太田 耕作（網野最終処分場） 安積智代美（弥栄市民局） 田中沙智代（久美浜市民局）
市民協働課	課長補佐	西村誠志郎（農政課課長補佐） 村田 雅之（企画政策課）
子ども未来課	課長	後藤 圭治（峰山市民局长）
	課長補佐	○友松 尚文（子ども未来課） 吉岡 祥嗣（観光振興課） 野村亜紀子（健康推進課） 金森 礼記（新規採用）
峰山市民局	市民局长	○平林 順一（峰山市民局局长補佐）
	局长補佐	○高野美加代（峰山市民局）
	局长補佐	○岩城 宏之（峰山市民局） 中村亜希子（保険事業課） 花満 昌輝（土木課） 高野 聡顕（新規採用）
大宮市民局	市民局长	○糸井 正彦（大宮市民局局长補佐）
	局长補佐	○鈴木 常敏（大宮市民局）
	局长補佐	○田中 寿夫（管財・収納課） 川口 敏一（市民課） 吉田 茂喜（市民協働課） 松村 麻美（新規採用）
網野市民局	市民局长	○谷口 栄司（網野市民局局长補佐）
	局长補佐	森 勇雄（産業雇用総合振興課課長補佐） 吉岡 朝美（税務課） 松本 勝年（下水道整備課） 小北 景子（税務課） 森 友宏（新規採用）
丹後市民局	局长補佐	○道家 城作（情報政策課） 下岡 正宗（新規採用）
弥栄市民局	市民局长	○川戸 一生（障害者福祉課課長補佐） 西井喜代美（障害者福祉課） 上田 将志（新規採用）
久美浜市民局	市民局长	○月岡 良子（久美浜市民局局长補佐）
	局长補佐	○志村 和弘（総務課） 田中 光男（監査委員事務局） 岡本 達也（新規採用）

●議会事務局

議会総務課	平田有希子（新規採用）
-------	-------------

●市長直轄組織

秘書広報広聴課	服部 忍（行財政改革推進課） 高倉 遼（農業委員会事務局）
---------	----------------------------------

●企画政策部

	次長	○新井 清宏（商工観光部理事） 〔危機管理監兼務〕
企画政策課	課長	下岡啓二郎（観光振興課課長）
	主幹	○竹内 昌明（企画政策課課長補佐）
	課長補佐	○小山 登（網野市民局）
総務課	課長	小石原利和（監査委員事務局長）
	課長補佐	宮本 富夫（峰山市民局局长補佐）
人事課	課長	中村 和幸（総務課課長）
	課長補佐	田中 英樹（環境バイオマス推進課課長補佐） 左司 裕美（新規採用）
情報政策課		中川 享一（普及推進・料金課） 梅田あすか（新規採用）

●財 務 部

財政課		清水 和則（税務課）
管財・収納課	課長	○安田 勉（生活福祉課課長補佐） 坂戸 清幸（税務課） 行待 香織（新規採用）
入札契約課		中村 賢吾（新規採用）
税務課	課長補佐	河田 英雄（行財政改革推進課課長補佐）
	課長補佐	山下 茂裕（学校教育課課長補佐） 大同 敏剛（大宮市民局） 松田 吉正（環境バイオマス推進課） 佐川 直美（生活福祉課） 小倉 信治（秘書広報広聴課） 田中 裕明（新規採用）
行財政改革推進課		大木 香織（市民課） 中江 孝吏（入札契約課）

職員人事異動

4月1日付けで職員の人事異動を行いましたので、お知らせします。

掲載は異動者のみとしています。カッコ内は異動前の所属を表しています。

なお、新規に採用した職員のうち、平成23年3月1日現在で「採用に必要な資格を取得見込みであった者」など一部の職員については、本紙5月号に掲載します。

（役職名は係長以上を付記。氏名の前の○は昇格・昇任を表す）

●退職（3月31日付け）

奥田 聖介	（久美浜病院病院長）
春日 正隆	（久美浜病院診療部外科医師）
金久 和幸	（医療部部长兼政策総括監）
中村 基彦	（商工観光部部长兼政策総括監）
上田 弘子	（健康長寿福祉部部长）
和田 道雄	（会計管理者兼会計課長）
高橋 忠彰	（教育委員会事務局教育理事）
浜上喜久男	（企画総務部次長兼危機管理監兼企画総務部企画政策課長）
安岡 克己	（市民部理事兼企画総務部理事兼市民部久美浜市民局長）
辻田 壽男	（農林水産環境部理事兼農林水産環境部農政課長）
川口 勝彦	（建設部理事兼建設部管理課長）
櫻井 武	（企画総務部人事課課長）
平井 一弘	（市民部子ども未来課課長）
岸本 英志	（市民部網野市民局長）
小出 光祐	（市民部弥栄市民局長）
古橋 伸一	（健康長寿福祉部保険事業課課長）
森田 正二	（農林水産環境部農林整備課課長）
糸井 嘉彦	（教育委員会事務局教育総務課課長）
小國 敏野	（企画総務部人事課課長補佐）
下岡耕一郎	（財務部税務課課長補佐）
秦 祐康	（市民部市民課課長補佐）
金盛 俊幸	（市民部子ども未来課課長補佐）
木下 俊夫	（市民部丹後市民局局长補佐）
藤野 均	（健康長寿福祉部保険事業課課長補佐）
堀 弥壽彦	（農林水産環境部農林整備課課長補佐）
小森 和男	（教育委員会事務局網野学校給食センターセンター長）
矢野 義則	（農業委員会事務局局長補佐）
寺田 一雄	（市民部峰山市民局）
矢野 典一	（市民部大宮市民局）
沖佐々木富枝	（市民部網野市民局）
給田まゆみ	（市民部網野市民局）
坪倉 正樹	（市民部弥栄市民局）
岡崎不二夫	（建設部管理課）
今井みどり	（弥栄病院事務局管理課）
吉岡登美子	（農業委員会事務局）
濱野 泰一	（消防本部峰山消防署竹野川分遣所副分遣所長）
平井 保子	（大宮南保育所所長）
中村恵美子	（網野保育所所長）
梅田 幸子	（丹後保育所所長兼丹後幼稚園園長）
岡田 久子	（宇川保育所所長）
吉岡 典子	（鳥取保育所所長）
永井ゆみ子	（久美浜保育所所長）
森田 信子	（網野みなみ保育所所長補佐）
山口 美里	（たちばな保育所）
中村 真子	（丹後保育所）
田中 恵子	（こうりゅう保育所）
越江 絵梨	（峰山保育所）
大木登志子	（峰山保育所）
鵜飼 昭好	（吉原小学校）
岡野 康雄	（久美浜小学校）
長砂 厚子	（峰山中学校）
佐々木博子	（峰山中学校）
倉田 健一	（網野中学校）
小出 静子	（間人中学校）
佐野 大裕	（久美浜中学校）
田中可壽子	（久美浜中学校）
山口 明	（高龍中学校）
岸本加津代	（弥栄病院看護部）
大谷 美鈴	（弥栄病院看護部）
倉野 早苗	（弥栄病院看護部）
中西真理子	（弥栄病院看護部）
櫻井賀奈子	（弥栄病院技術部）
富田 和子	（久美浜病院看護部）

●学校・幼稚園			
峰山小学校		梅上 淳司	（大宮第二小学校）
		今西 佳子	（弥栄中学校）
大宮第一小学校		由良 茂	（峰山小学校）
大宮第二小学校		高尾 治良	（大宮第一小学校）
久美浜小学校		原 寿栄雄	（橘中学校）
峰山中学校		高尾 朋子	（峰山小学校）
大宮中学校		藤村由美子	（間人小学校）
間人中学校		奥谷 泰英	（溝谷小学校）
弥栄中学校		稲本久美子	（間人小学校）
久美浜中学校		大西 弘己	（豊栄小学校）
		中西 博美	（大宮中学校）
峰山幼稚園		高尾 智美	（峰山保育所）
網野幼稚園		橋本 真理	（久美浜保育所）
		折戸 絵美	（新規採用）
丹後幼稚園	園長	小森 敦子	（浅茂川保育所所長） 〔丹後保育所所長兼務〕
		野村 圭乃	（峰山幼稚園）
		室野めぐみ	（丹後保育所）

●弥栄病院

診療部			
産婦人科	産婦人科部長	○福田 美香	（弥栄病院産婦人科医長）
看護部	看護師	岡井あゆ美	（新規採用）
	看護師	宮島 好美	（新規採用）
	看護師	吉岡恵都子	（新規採用）
技術部	作業療法士	岡田 里沙	（新規採用）
事務部			
管理課	課長補佐	○梅田 和幸	（医療政策課）
		奥田 晋子	（医療政策課）

●久美浜病院

	病院長	○赤木 重典	（久美浜病院副院長）
	病院副院長	○岩見 均	（久美浜病院診療部長兼小児科部長）
診療部	診療部長兼佐濃診療所長	○山本 康	（久美浜病院内科部長兼佐濃診療所長）
	診療部長兼歯科口腔外科部長兼歯科部長	○堀 信介	（久美浜病院歯科口腔外科部長兼歯科部長）
	診療部長兼泌尿器科部長	○浦野 俊一	（久美浜病院泌尿器科部長）
	診療部長	○瀬尾 泰正	（久美浜病院内科部長）
	外科医長	中島 慎吾	（新規採用）
	小児科医師	杉本 洋平	（新規採用）
看護部	看護師	水元 佳子	（新規採用）
	看護師	平野沙也香	（新規採用）
事務部			
管理課	課長補佐	葛原 睦民	（建設部管理課課長補佐）

●監査委員事務局

	事務局長	松井 邦行	（管財・収納課課長）
--	------	-------	------------

●農業委員会事務局

	局長補佐	○山口 昌夫	（農業委員会事務局）
		門下 保夫	（久美浜市民局）
		松山 正	（農林整備課）

●消防本部

	次長	○奥田 直人	（峰山消防署長）
総務課		高野 喜仁	（新規採用）
		萩原 辰典	（新規採用）
		瀬戸 孟	（新規採用）
峰山消防署	署長	○吉田 件昨	（副署長兼峰山消防署消防課長）
消防課	課長	○吉岡 浩	（竹野川分遣所長）
		荻野 寿彦	（網野分署）
		櫻井 昭裕	（網野分署）
		形山敬太郎	（久美浜分署）
		徳田新之介	（消防本部総務課）
		大澤 友成	（久美浜分署）
		後藤 真哉	（久美浜分署）
		荻野 日翼	（消防本部総務課）
		田家 彰浩	（久美浜分署）
		山本 景一	（網野分署）
予防課		池本清一郎	（消防課）
網野分署		田宮 恭志	（消防課）
		井上 忠司	（消防課）
		日下部宣仁	（消防課）
		木村 好宏	（消防課）
久美浜分署	副分署長	○井上 一彦	（久美浜分署係長）
	係長	○梅田 雅弘	（予防課）
	係長	○吉岡 稷	（竹野川分遣所）
		中西 孝文	（網野分署）
		堀江 哲平	（消防課）
		三宅 英樹	（消防課）
		吉岡 哲平	（竹野川分遣所）
竹野川分遣所	分遣所長	○吉岡日出圭	（久美浜分署副分署長）
	副分遣所長	○安田 直樹	（消防課係長）
		吉岡 徹也	（消防課）
		中村 真也	（消防課）

●教育委員会事務局

	教育理事	木本 勝幸	（新規採用）
	教育理事	竹本 茂	（新規採用）
教育総務課	課長	藤村 信行	（学校教育課課長）
		水口 奈菜	（長寿福祉課）
学校教育課	課長	○山根 直樹	（学校教育課課長補佐）
	課長補佐	田村美乃枝	（市民課課長補佐）
	課長補佐	横島 勝則	（文化財保護課課長補佐）
		堂田 和宏	（新規採用）
網野学校給食センター	センター長	大木 利男	（健康推進課課長補佐）
社会教育課		野村 夕子	（子ども未来課）
		三本 智之	（企画政策課）
		平岡 隆大	（新規採用）
文化財保護課	課長補佐	○久保 和明	（社会教育課）

職員人事異動

（役職名は係長以上を付記。氏名の前の○は昇格・昇任を表す）

●商工観光部

	部長	○吉岡 茂昭	（商工振興課課長）
商工振興課	課長	○柳内 研一	（産業雇用総合振興課課長補佐）
	課長補佐	引野 雅文	（観光振興課課長補佐）
観光振興課	課長	○川口 誠彦	（観光振興課主幹）
	課長補佐	中島 茂樹	（医療政策課課長補佐）
	課長補佐	○上羽 正行	（観光振興課）
		鶴原 義和	（社会教育課）
		橋本 一希	（新規採用）
産業雇用総合振興課	課長	○高橋 尚義	（企画政策課課長補佐）
	課長補佐	増田 知裕	（商工振興課課長補佐）
		増田 裕貴	（長寿福祉課）
		小西 宏和	（農政課）

●建 設 部

管理課	課長	○森戸 毅	（水道整備課課長補佐）
	課長補佐	下戸 隆男	（海業水産課課長補佐）
		柴山 真樹	（新規採用）
土 木 課		田中 順子	（健康推進課）
都市計画・建築住宅課		明尾 友樹	（新規採用）

●上下水道部

普及推進・料金課	課長	○平井 幸夫	（普及推進・料金課課長補佐）
		鍛冶 宏美	（学校教育課）
下水道整備課	課長補佐	○吉岡 浩司	（土木課）
		高田なぎさ	（丹後市民局）
		中江 脩	（新規採用）

●会計管理者

	会計管理者	○中邑 正樹	（大宮市民局長） 〔会計課長兼務〕
--	-------	--------	----------------------



全職員の配置については、市ホームページ（http://www.city.kyotango.lg.jp）に「京丹後市職員名簿」を掲載しています。



真剣な表情でスティックを握る選手（丹後町大山の豊栄山村広場で）

「第16回カニの町『丹後町』ゲートボール大会」（同実行委員会主催）が3月14、15の両日、豊栄山村広場（丹後町大山）で開催されました。

冬の味覚・カニとゲートボールをセットで楽しめる恒例の大会。今年は、府内をはじめ大阪や兵庫県などから参加した44チームが、日ごろ鍛えた技を競いました。

参加選手は、宿泊先の旅館などでカニ料理を満喫し、大会では真剣な表情で熱戦を繰り広げていました。

亀岡市から参加したチームの主将は「宿泊がセットになっているのがとても魅力。来年もぜひ来たい」と話していました。

“野間のどぶろく”で交流人口増へ

 4月下旬に新酒の披露を予定



もろみの温度を管理する日達さん（弥栄町須川の「温古里」で）

弥栄町野間地区にある農家民宿の経営者たちでつくる「野間どぶろくの会」でこのほど、どぶろく（濁酒）の本格的な仕込み作業が始まりました。メンバーたちは「納得できる味に近づいた」と話し、順調にいけば4月下旬には宿泊客に提供できる予定とのことです。

同会は、平成21年秋に「どぶろくで交流人口を増やし、地域を元気にしよう」と、

日達さんは「少し甘口でキレの良いどぶろくを造りたい」と話しています。

カニとゲートボールを満喫

 府内外の愛好家ら、日ごろ鍛えた技競つ



カエルの彫刻を施した標柱が立てられた「葛野（かすの）区緑化公園」（久美浜町葛野地区内）

久美浜・湊地区の名所22選に標柱設置

 活性化協議会「“地域資源”をまちづくりに」

久美浜町の「湊地区活性化協議会」がこのほど、同地区の住民が選んだ“ふるさとの名所”22カ所に木製標柱を設置しました。魚や動物などの彫刻が施された標柱が、訪れた人の目を楽しませています。

史跡や名勝地などの“地域資源”をまちづくりに生かす「ふるさとの名所づくり」の取り組み。名所には、ユウスゲの群生地である「箱石浜海岸」や出漁前の天気予測に用いたとされる気圧計「時化針」などが選定されています。

標柱は高さ2メートル、直径30センチ程度で、スギの間伐材を使用。上部の彫刻は、田中哲也さん（峰山町鱒留）がチェーンソーを使って彫り上げた作品です。



竹を伐採した斜面にツツジを植える「城山を整備する会」の会員たち

峰山町丹波にある「丹波城」跡の公園化に取り組んでいる「城山を整備する会」（藤村淳一代表）が3月13日、同城跡でツツジの植栽などを行いました。

城跡は、標高56メートルの丘陵にあり、面積は約5,000平方メートル。人の手が入らずに荒れた竹林になっていたため、「地域住民の憩いの場として管理しよう」と、3年前に会員たちが「城山公園」の整備に着手。これまでに、竹の伐採や管理道の建設のほか、ヤマザクラ46本とツツジ270株を植樹してきました。

この日は、会員たち25人が参加し、斜面などにツツジ300株を新たに植えました。参加者たちは「この取り組みを若い世代にも継続していきたい」と話していました。

同会では、今後も定期的に作業を続けていくこととしています。

「丹波城跡を憩いの場に」

 整備する会 ツツジ300株を植樹

3月13日



白砂青松を再生させよう——。「琴引浜白砂青松保全委員会」（岡田一雄委員長）の会員やボランティアなど約200人が3月6日、同浜にクロマツの苗木1,200本を植えました。

松枯れ被害が広がっていることから、同委員会が海岸林の保全活動の一環として4年前から実施。

この日は、掛津区や遊区の住民をはじめ、地元の小中学生や企業、福知山市のボランティア団体などが参加しました。参加者らは、約1メートル間隔で穴を掘り、根の生育を促すための炭を入れ、高さ20センチほどに成長した苗木を次々と植えていきました。

島津小学校からは、4年生から6年生の児童65人が参加。嵯峨根健太君（5年生）は「松林には、海からの風を抑え砂の飛散を防ぐ役割があることを学んだ。僕たちが植えた松が大きく育ち、役に立てばうれしい」と笑顔で話していました。



「大きく育て」と、クロマツの苗木を植える島津小の児童たち

「琴引浜の松、大きく育て」

 ボランティアなど200人が1200本を植樹

3月6日



“ほめ上手”は“しつけ上手”

手がかかるときこそ、最大のチャンス。



「つい、叱ってしまって…」 「毎日、イライラの連続です」。そんな悩みは、子育て中のお父さんお母さんなら誰でも感じるところですよね。でも、少し考え方を変えるだけで、子育てがとっても楽になるんです。

どんな人でも、「誰かから認めてもらいたい」という思いを持っているもの。その気持ちに寄り添う関わり方をすると、“ほめる”だけで、効果的なしつけができちゃうんです。

<今日から実践できる“ほめ方ポイント”>

ほめ作戦その1 「子どものいいところを探そう」

子どもの「いいところ」をスラスラ言えますか？悪いところにばかり目がいていませんか？ ささいなことでも構いません。良い行動を見つけたら見逃さずほめてあげましょう。



初めからこぼしにくいもの

ほめ作戦その2 「ほめることを習慣にしよう」

「何をほめたらいいのかわからない」かたにお薦めするのが、「当たり前前にできていること」をほめること。朝自分から起きてきた、おはようとあいさつした…。そんな一つひとつの行動を認めてほめてあげましょう。



9割方お母さんが片付けたとしても…

<「ほめていること」が子どもに伝わるように>

ほめるときの5つの心得

お父さんやお母さんが「こんなことしてほしいな」と思っていることを子どもがしてくれたときに、ほめていることが子どもにきちんと伝わるほめ方をしましょう。

- 1 できるだけ早く（1秒～3秒以内に）ほめる。
- 2 そばに行き、子どもと同じ目の高さでほめる。
- 3 子どもの目を見て、子どもが見返すのを待って、視線を合わせてほめる。
- 4 ほほ笑んで、子どもの肩に手を当てたり、抱き締めたりしながらほめる。
- 5 簡潔に、具体的にほめる。

してほしいことをし終わったときだけでなく、しようとしているときや、し始めたとき、している最中も、どんどんほめてみましょう。

実は、この「ほめ方アドバイス」にはまだまだたくさん続きがあるんです。知りたいかたは、保健師にどうぞお尋ねください♪

子育ては楽しいけれど、悩みもたくさん出てくるもの。保健師は、皆さんの子どもの体や心の成長について一緒に悩み、考え、少しでも保護者の皆さんのサポートができれば、と考えています。ぜひお気軽に声を掛けてくださいね。



お問い合わせ先：健康推進課（☎69-0350）



公園は大自然の中にある。宮津湾はもちろん、晴れた日には北陸の山々まで見渡せる素晴らしい展望を楽しめる

来園者とスタッフが 一緒につくっていく公園

天橋立の北約10キロに位置する「丹後海と星の見える丘公園」は、平成18年8月に府内11番目の都

市公園として誕生しました。地域住民からは、親しみを込めて「うみほし公園」と呼ばれています。うみほし公園を紹介するとき、「手づくりで成長・発展する公園」「創造する公園」と表現します。全てが完成し、準備されている中で楽しんでもらうのではなく、来園者とスタッフが一緒にあって、新しい公園を創りあげていきたい…。そう考えて、来園者に「創造」を楽しんでもらえるようさまざまな体験プログラムも用意しています。

公園が目指す「創造」とは、生きる喜びや幸せ、豊かさを創るということ。ここで養われた創造力を、人や自然など全てのために発揮してもらえればと思っています。

「京都自然塾」で地球を感じよう

「京都自然塾」は、丹後の大自然をフィールドとして、環境問題の根っこを感じ、感動とともに伝える環境教育プログラム。脚本家・倉本聰さん監修の「富良野自然塾」をモデルにしています。



京都自然塾の内容の1つ「46億年・地球の道」

「森の教室」「裸足の道」「石の地球」「地球の道」の4つの内容で構成。2時間半にわたって、インストラクターの解説とともに、参加者に五感を通じて体感し、気付かせてもらいます。



倉本聰さん

また、自然塾のオープンを記念して、4月19日（火）13時から、宮津会館（宮津市鶴賀）で倉本聰さんの講演会を開催します。参加無料。問い合わせは下記まで。

誕生から5年、石窯やかまど、星空の観察ハウスなどさまざまなものをみんなの力で合わせてつくってきました。これからは、自然から、また先人の知恵から学びながらつくった公園の財産です。また、昨年は、地球のことや環

境問題のことを考えるきっかけとなる「道」をつくりました。4月19日からは、この道を活用した新しい環境教育プログラム「京都自然塾」が始まります（左記参照）。平成23年春、ぜひ、うみほし公園に来てください。みんなと一緒に地球のこと、未来のことを語り合いたいです！

京都府の
ひろば

Since 2008.09

京都府で取り組んでいる市民生活にかかわる事業などについて紹介しています。

自然に学び未来を「創造」しよう。

宮津市里波見

丹後海と星の見える丘公園

本州初の試み「京都自然塾」4月から

国民文化祭・京都2011

開催まであと
204日
(4月8日現在)

マスコットキャラクター
PR隊長「まゆまる」



59件の出動を要請、47人を搬送

平成22年のドクターヘリ運航状況

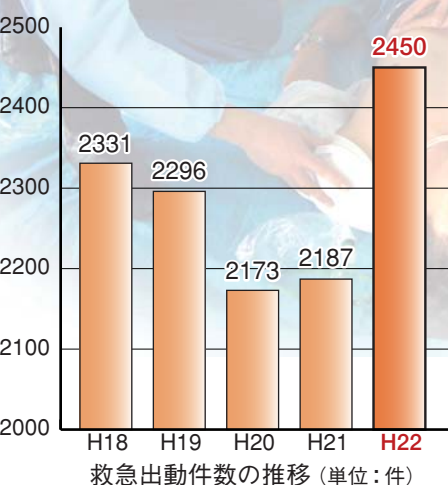


平成22年4月から、京丹後市域でも、豊岡市の公立豊岡病院を拠点としてドクターヘリの運航が始まっています。これにより、本市の救急医療体制は、さらなる充実に向け大きな一歩を踏み出しました。

昨年4月から12月までの間に、市消防本部では急病や交通事故などの救急患者に対して59件の出動を要請し、47人を搬送しました。

また、ドクターヘリを支援するため、救急車のほか広報車やポンプ車が出動します。緊急車両の通行にご協力をお願いします。

猛暑などで大幅に増加
病气やけがで緊急を要するかたを救うため、救急出動した件数は2450件で、21年に比べ263件増加。過去最多の出動件数となりました。1日の平均件数は6・7件で、単純計算で3・6時間に1回出動したことになります。



救急出動件数の推移 (単位: 件)

310件。猛暑による熱中症の発生が多かったためと考えられます。傷病の程度別で見ると、死亡73人、重症196人、中等症1051人、軽症983人でした。搬送人員に対する軽症者の割合は全体の4割以上を占めています。1人でも多くの命を救うために、救急車の適正な利用をお願いします。

【救急】

2,450件

【通信】

3,693件

4割がいたずらや間違ひ

指令室で取り扱った119番通報の総受信件数は3693件で、21年より287件増加しました。

このうち、いたずらや間違ひ、急を要さない問い合わせなどの合計が1561件で、全体の4割を占めています。

市民の皆さんが119番通報を正しく利用することで、災害や救急に素早く対応することが出来ます。お問い合わせなどは、6201119番にお願いします。

22年を振り返ると

平成22年は、火災、救急、救助全ての件数が増加。8月には猛暑による災害が多く発生しました。

市消防本部では、多様化する災害に対応するため、さまざまな現場を想定して日々訓練を重ねています。皆さんも日ごろから防災意識を持ち、災害への備えをしていただきますようお願いいたします。



新山保育所(峰山町荒山)の子どもたちも住宅用火災警報器の設置をPR

消防統計2010

昨年中の市内の火災発生状況や救急救助活動状況など、消防・防災に関する各種の統計調査結果をお知らせします。

市消防本部 消防長
坪倉 護

住宅火災から家族を守るために

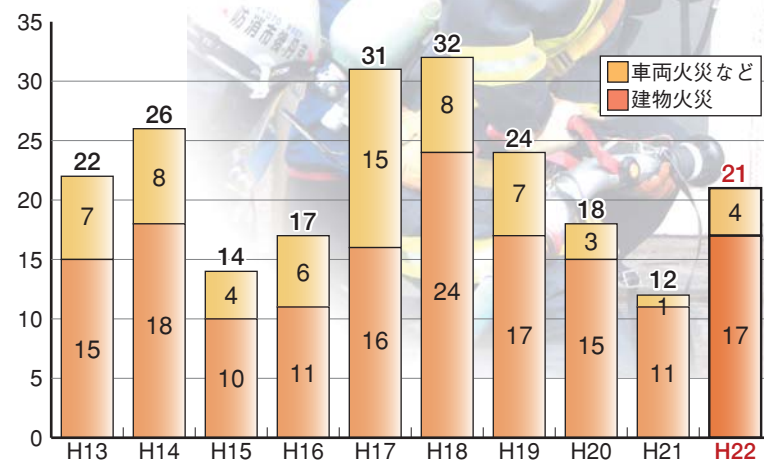
昨年、京丹後市内において、残念ながら火災によって2人が亡くなりました。市では、住宅火災からの逃げ遅れをなくすため、いち早く火災の発生を知らせてくれる「住宅用火災警報器」の設置を推進しています。今年の5月末には、既存住宅への警報器の設置期限が迫っています。1日も早く、設置をお願いします。

今後も災害に強いまちづくりのため、消防職員一同全力で取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をお願いします。

死傷者は過去最多の13人
火災件数は21件で、平成21年に比べて9件増加しました。
種類別に見ると、建物火災が17件、車両火災が3件、その他の火災が1件となっています。火災による死傷者数は、死者2人、負傷者11人で、過去最多となりました。
原因別では、たき火からの延焼が4件で最多。ストーブから、そして電気装置からの出火がそれぞれ2件ずつ、その他の原因によるものが13件でした。
住宅用火災警報器を設置することにより、火災の発生にいち早く気付くことができます。火災による死傷者を減らすためにも、1日も早い設置をお願いします。

【火災】

21件



市内で発生した火災の件数の推移 (単位: 件)



地域別に見た平成22年火災発生状況 (単位: 件)



電気火災を防ぐポイント

家庭で確認してください



- ①コンセントに差しっぱなしのプラグに、ほこりがたまっていませんか?
- ②電気コードが、家具などの下敷きになっていませんか?
- ③電気コードを束ねたり、ねじれたままで使用していませんか?
- ④電気コードが傷ついていませんか?

【救助】

45件

交通事故が7割を占める

事故や災害などの発生により、救助に出動した件数は45件で、21年に比べ15件増えました。

事故種別では、交通事故が30件と最も多く、全体の約7割を占めています。続いて水難事故が7件、その他の事故が8件でした。



産後一時本当に大きな元気な声で泣いたのと、無事に産まれて来てくれたと安心しました。これから赤ちゃんと一緒に元気に成長を遂げてね。

ほんだ さのか
本田 桜乃香ちゃん(女の子)
2月生まれ・3,346グラム
母:百合子さん 父:一男さん
(丹後町間人)



生まれて来乃まで大変だったけれど、元気に生まれて来てくれて本当にありがとう。ママの宝物だよ。

まつみ めい
松見 芽愛ちゃん(女の子)
2月生まれ・3,242グラム
母:愛さん 父:良平さん
(峰山町赤坂)

A bond of life

いのち ぎずな 生命の絆

生まれてきてくれてありがとう

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃん誕生の瞬間を喜びご家族の姿を紹介します。詳しくは秘書広報広聴課(☎69-0110)まで。



元気に生まれてきました！
我が家に新しいいのちをありがとう。
心も体も健やかに成長できるように！！

ますだ こだい
増田 琥大ちゃん(男の子)
2月生まれ・3,438グラム
母:仁美さん 父:知剛さん
(弥栄町和田野)



男子の部、K-4のB級決勝で見事優勝した4人(右から、嶋貴雄太くん(3年)、平野貴史くん(3年)、川原京太郎くん(3年)、村野武広くん(1年))

久美浜中学校カヌー部
久美浜中学校カヌー部のメンバー4人が3月18日、京都府スポーツ賞の受賞と全国中学生カヌー大会の報告に米田教育長を表敬訪問しました。
昨年、「JOCジュニアオリンピックカップ」成22年全国中学生カヌー大会で男子の部K-4(4人乗りのカヌー)B決勝で優勝。1年生の村野君は、中学1年の部、K-1、500メートルで優勝を果たしました。

関連記事18ページ

久美浜中カヌー部

全国中学生カヌー大会 K-4で優勝

第22回サッカーフェスティバル(丹後サッカークラブ主催)の小、中学の部が3月19、20の両日、峰山途中ケ丘公園を主会場で開催されました。市内をはじめ、兵庫県豊岡市などの市外から小学の部に14チームが出場し熱戦を繰り広げました。小学の部では、弥栄フットボールクラブジュニアが3位、中



熱戦を繰り広げる選手たち(小学の部)

サッカーフェスで34校が熱戦
小、中学の部

KYOTANGO SPORTS

京たんでスポーツ

たんずぼ

女子

▼一般①綾部高②宮津高C③桂高A▼中学①網中女子駅伝部②峰ヶ岡中③江陽中

男子

▼一般①綾部AC①②丹後RC③途中ケ丘RC▼高校①綾部高②宮津高A③京都外大西高▼中学①江陽中A②養老中③網中男子駅伝部A

大会結果(各部門の3位まで)

北丹地方駅伝

40チームがたすきつなぐ

第55回北丹地方駅伝大会(北丹陸上競技協会など主催)が3月13日、丹後あじわいの郷周辺で開催され、40チーム168人がたすきをつなぎました。

男子の一般・高校の部は23・3キロ、中学の部は13・3キロ、女子の部は11・9キロのコース。選手たちは沿道からの声援を受けながら、健脚を競いました。

センバツ

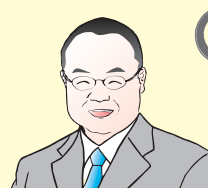
第83回選抜高校野球大会

荻野 周平君、7回裏2番手で登板

3月23日から4月3日まで熱戦が繰り広げられた第83回選抜高校野球大会に、京都成章高(京都市)の荻野周平君(2年、峰山中出身)と辻田和嵯君(2年、高龍中出身)が出場しました。

市長工ツセイ

和氣泰来



▼東北関東大震災に際し、市民の皆さんとともに震災でお亡くなりになられたかたがたに謹んで心からの哀悼の誠を捧げますとともに、行方不明のかたがたの一日も早い安全と所在の確認、被災者、被災地の早急な復興を心からお祈りします。本市としても、消防救急隊や給水隊の派遣などとともに、市民の皆さんから義援金や救済物資など非常に多くのお寄せいただきました。ご支援を被災地にお届けしており、今後とも、できうる限りの支援や協力を行ってまいります。

▼今から84年前、昭和2年3月7日、丹後地方を大地震が襲い、丹後全体で2992名の尊い命が失われました。このときも、深い積雪の中にもかかわらず、いち早く救済物資や義援金を、全国各地、海外からもお寄せいただき、延べ、物資は5万箱以上、義援金は約439万8千円(今で言うとおおむね30億円)にのぼったと

「ひとりじゃない」絆とともに始まる復興

復興の輪とともに、我が国社会の中で縦横無尽に紡がれている、人と人との強靱で尊い絆、「ひとりじゃない」絆の再発見とその広がりにより、被災地の一日も早い復興と日本の真の再発展が着実に進みますよう、心から願っています。

京丹後市長 中山 泰

いうことです。心から感謝に尽きません。

山陰海岸ジオパークの世界認定を記念したシンポジウム(放送大学京都学習センター)など主催が3月13日、アグリセンター大宮(大宮町)で開催され、参加者が広域的な連携を通じた取り組みなどについて意見を交換しました。

シンポジウムは、鳥取県から京丹後市までの山陰海岸ジオパークの各地域が地域資源の保全、活用を図り、自然環境を守り、広域的な連携を通じた観光や産業振興の方策を探るのが目的。

連携で地域振興を探る

放送大学鳥取学習センターの西田良平所長が「山陰海岸ジオパークの課題」と題し基調講演。その後、長濱孝次市観光協会会長ら4人による「地域資源の活用と地域連携」をテーマとしたパネル討論が行われ、パネルが各地域の活動を紹介。

鳥取砂丘の再生に取り組む熊田一隆さんは、山陰海岸ジオパークの全域を対象とした旅行会社の企画商品が少なくないことを指摘した上で、「ジオエリアを対象とした統一的な企画商品の開発が必要だ」と提案しました。



ジオパークを通じた観光振興や地域活性化に向けて討論する参加者

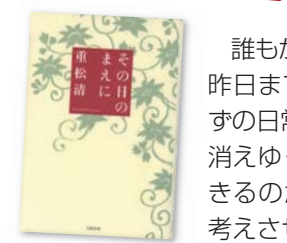
図書館だより

今月のおすすめ

■その日のまえに **大人向け**

重松清／著 文藝春秋

誰もが「その日」に向かって生きている。昨日までの、そしてあしたからも続くはずの日常を不意に襲う、大切な人の「死」。消えゆく命を前にして、いったい何ができるのか。「幸せ」とは何か、あらためて考えさせられる感動の一冊です。



■イソップ **子ども向け**

青木和雄／作 吉川聡子／画 金の星社

5年生の祥吾は、ある事件が元で名門私立校を自主退学し、転校先の学校で「イソップ」と呼ばれる男の子に出会う。イソップの顔や背中には無数の傷があつて。人との接し方が分からない祥吾が次第に変わっていく様を描いた物語です。



4月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
5/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14

◆開館時間／10時～18時（峰山・あみののみ水曜は19時まで）
毎週月曜・毎月1日は休館日（土日祝日と重なる場合は翌日）

◆貸出／1人20点まで・2週間

◆問い合わせ先／ 峰山図書館（☎62-5101） 大宮図書室（☎69-0672）
あみの図書館（☎72-4946） 弥栄図書室（☎65-2101）
久美浜図書室（☎82-1771） 丹後図書室（☎69-0664）

故藤本芳郎さんの写真を展示

あみの図書館に、網野町のアマチュア写真家・故藤本芳郎さんの遺作を展示しています。

昭和50年代前半の高天山から見た網野市街地の写真。藤本さんのご家族から寄贈していただきました。

雑誌・新聞コーナーに設置してありますので、来館の際にはぜひご覧ください。



昭和50年代の網野町の街並みを写した写真

★科学あそび教室「紙トンボであそぼう」を開催

あみの図書館

2月13日、あみの図書館で科学あそび教室を開催しました。

「読み物だけでなく科学的な本にも興味や関心を持ってほしい」と願い開催。親子連れなど約50人の参加者が、弥栄町の深田和幸さんの指導で「紙トンボ」作りに挑戦しました。

なかなかうまく飛ばせないものの、子どもたちは工夫を重ねて何度も挑戦。会場いっぱい子どもたちの歓声が響き渡りました。



紙トンボ作りに挑戦する子どもたち

★全館の蔵書が充実しました

国の「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用して、子どもたちの調べ学習向けの本や、中高生・大人向けの読み物をたくさん入荷しました。読みたい本が最寄りの図書館にない場合は他館から取り寄せられますので、お気軽にお尋ねください。

広報クイズ

今月号に掲載された記事からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人のかたに図書カード500円分をプレゼント！



- 問1** 平成23年京丹後市成人式には〇〇〇〇人の新成人が出席
- 問2** 市は3月19日、支援物資を福島県〇〇市に輸送
- 問3** 地域活性化グループ「京丹後塾」が「丹後〇〇〇〇〇〇〇」を出版

◆応募方法

はがきに ①クイズの答え（○の中に入る数字や文字）②住所 ③氏名くふりがな ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙の感想やイラストなどを明記して、秘書広報広聴課まで（宛先は裏表紙を参照）。なお、いただいた感想やイラストは広報紙に掲載することがあります。

◆締め切り

4月22日（金）当日消印有効。当選者の発表は来月号のこのコーナーで。

◆3月号の答え

①KTR ②59044 ③コウノトリ

◆3月号当選者

おめでとうございます！

- ✿小笹 静子さん（網野町網野）
- ✿田中 慎策さん（網野町網野）
- ✿早田 八重子さん（久美浜町丸山）
- ✿松岡 貴子さん（網野町下岡）
- ✿松本 正子さん（網野町木津）

応募総数23人、19人正解でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

市職員人事異動

異動 [3月1日付] ※カッコ内は前所属

弥栄病院 地域医療連携室
主任看護師 松川 景子
（弥栄病院訪問看護ステーション 主任看護師）

弥栄病院 訪問看護ステーション
看護師 山本 久美子
（弥栄病院看護部 看護師）

おわびと訂正

○3月号12・13ページのフォトグラフ「丹後『農業・農村』写真コンクール」で、写真メールの部銀賞受賞者の氏名が「安見政敏さん」とあるのは「安見政利さん」の誤りでした。おわびして訂正します。

○3月号16ページの「京都府のひろば」で、林道奥寄線の位置図が大きくなりすぎていました。おわびいたします。



宗雲寺の裏手にある肥後の墓。場所が分からないときは住職さんなどにお尋ねください

松井康之は、戦国時代末期（西暦1600年）に起こった関ヶ原の合戦の後、康之は細川忠興に従つて豊後国（大分県）の杵築へ移住し、その地で生涯を閉じました。その後、康之の子孫は肥後国（熊本県）に移り、八代城の城主となりました。松井氏はそのまま肥後国で代を重ね、現在に続いています。

松井氏が肥後に移り住んだことにちなみ、宗雲寺の五輪塔は「肥後の墓」と呼ばれるようになったのです。

肥後の墓は、戦国時代の久美浜にゆかりのあるものとして貴重なものであり、平成3年7月15日付けで久美浜町指定文化財（史跡）に指定。市発足にあわせて市指定文化財となっています。

なお、現存する五輪塔は、天明3年（1783年）に建て直されたものです。

（文化財保護課）

東北関東大震災義援金を受け付けています

日本赤十字社および中央共同募金会では、東北関東大震災の被災者を支援するための義援金を、次のとおり受け付けています。ご協力をお願いします。

なお、京丹後市においても、義援金の募金箱を各市民局および福祉事務所、市社会福祉協議会本所と各支所に設置しています。

【東北関東大震災義援金の受け入れ方法】

受付期限 平成23年9月30日（金）まで

受入口座 （ゆうちょ銀行）

○日本赤十字社

口座番号 00140-8-507

口座名義 日本赤十字社 東北関東大震災義援金

○中央共同募金会

口座番号 00170-6-518

口座名義 中央共同募金会 東北関東大震災義援金

※郵便局窓口での取り扱いの場合、振替手数料は免除されます。
※受領証の発行をご希望の場合は、振替用紙の通信欄に「受領証希望」と記入してください。
※この義援金は、寄付金控除の対象となります。

関生活福祉課（☎69-0310）

京丹後市の文化財 60

宗雲寺 肥後の墓（久美浜町新町）

久美浜町の宗雲寺の裏山に、「肥後の墓」と呼ばれる、高さ2メートルを超える巨大な2基の五輪塔があります。これは、久美浜にかつてあった松倉城の城主だった松井康之が、父・正之と母・法寿の墓として建立したものです。

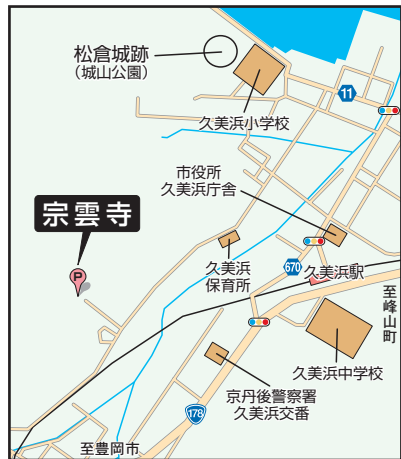
松井康之は、戦国時代末期（西暦1600年ごろ）に丹後地域を治めていた武将・細川氏の重臣でした。康之は、現在の久美浜小学校の裏山にあった松倉城に入城。ふもとの久美浜の街並みを

松倉城主・松井康之の父母の墓

整備しました。

久美浜に入ったことに伴い、天正15年（西暦1587年）、父母の墓を出身の山城国（京都府南部）から宗雲寺へ移し、菩提寺としました。

慶長5年（西暦1600年）に起こった関ヶ原の合戦の後、康之は細川忠興に従つて豊後国（大分県）の杵築へ移住し、その地で生涯を閉じました。その後、康之の子孫は肥後国（熊本県）に移り、八代城の城主となりました。松井氏はそのまま肥後国で代を重ね、現在に続いています。



Kia 京丹後市国際交流協会 navi

かい いん ぼ しゅうちゅう 会員募集

かいこく こうりゅう こくさいこうりゅう つう
外国のかたとの交流や、国際交流を通じてのまちづくりに関心のあるかたなど、どなたでも参加できます。

- ✿がいこくじん はなし 外国人のかたと話がしてみたい
- ✿がいこくじん にほんじん とも 外国人や日本人と友だちになりたい
- ✿がいこくじん にほんご まなび 外国人のかたで日本語が学びたい
- ✿がいこく ふん か たいけん など 外国の文化を体験したい など

このようなことが思い浮かんだときに行く場所、それが 京丹後市国際交流協会 です。

かい	ひ	こじん	ひと	ひと
会	費	個人会員	個人会員	一口2,000円
		だんたい	ほうじん かいいん	ひとくち えん
		団体・法人会員		一口5,000円

※会員数：135人 4団体（平成23年3月現在）

と あ さき きょうたん ご し こくさいこうりゅうかい し むきよく
お問い合わせ先 京丹後市国際交流協会事務局
（企画政策課内・☎69-0120）



ひとぐ ひと

若者・よそ者・ばか者がまちをかえる



ひとぐ ひと

若さあふれるひと・地域よさを発見してくれる人・ひとつのことに夢中に打ち込むひと



「スルメイカの塩辛」の完成を喜ぶ「酒肴もん屋」のメンバーたち

kyotangojin

あて 「酒肴もん屋」

丹後町

京丹後
人

17

新商品開発に挑む 異業種グループ

丹後町に、海の幸を使った新商品の開発に挑戦する加工グループがいる。これまでに開発を試みた商品は多種多様。幾度となく失敗を繰り返しながらも、ようやく「塩辛」の商品化にこぎつけた。今回は、若者の柔軟な発想と知恵を生かし、新たな商品づくりで地域に貢献したいと頑張る「酒肴もん屋」を紹介する。

◆ ◆ ◆

メンバーの年齢層は34～41歳。丹後町内で建設業、織物業、旅館業などを営む異業種の若者グループだ。平成21年、市商工会青年部の「新商品開発プロジェクト」の取り組みを機に結成。「みんなは、それぞれの経営に不安を感じている。仲間11人全員が知恵を絞り、不況を乗り越えていきたい」と、代表の長門弘之さん(40)は意気込む。

まずは、間人にある、かつての民宿を加工場に改装し、サバのへしこを試作。仕込み方法はお年寄りから教わった。新たな味を探るために、カレーやチーズ味の洋風へしも試みた。海藻のホンダワラをお茶やつくだ煮にしてみたりもした。

ところが、いずれも満足できる味が出せずに断念。商品化の難しさを思い知らされたという。「失敗の連続で、そのたびに心が折れましたね」と長門さんは苦笑する。

「やはり、基礎から学ぶことの重要性を感じた」というメンバーたち。へしこで有名な福井県美浜町に足を運び、研究を重ねた末に地元産のハマチを使うことを考案。これまでに計270匹を仕込んだ。「まだまだ試作段階だが、必ず販売に結び付けたい」と意欲を見せている。

へしこが漬け上がるまでの期間を利用して試作を重ねてきた、イカ墨をからめた「スルメイカの塩辛」が、今春ようやく完成。「イカ墨のほどこい風味が特徴。しつこくない味に仕上がった」とメンバーたちは満足げだ。毎月第1土曜日に峰山町で開かれる「御旅市場フリーマーケット」などで売り出す予定だという。

奥田賢助さん(40)は「僕たちの取り組みが、まちの活性化につながればうれしい。イノシシやシカの肉を使った新商品の開発も試したい」と意欲的。「他の食品業界との交流も必要。そこから新たな可能性が生まれるはずだ」と、畑中一則さん(38)も前向きだ。

彼らのチャレンジは今後も続く――

つぶやき

▼今月号をもって、広報担当から外れることになりました。広報を担当したのはわずか2年でしたが、さまざまな経験をさせていただきました。

▼11月号の「水特集」の取材で丹後各地の名水スポットを巡ったり、2月号のフォトグラフ「峰山高美術部日本画に挑戦」では、頑張っている高校生の姿を伝えようと、半年にわたって密着取材したり…。何より、たくさんの人と出会い、交流できたことが一番の収穫でした。

▼短い間でしたが、大変お世話になりました。平成23年度は新体制となつて、さらにパワーアップした広報紙をお届けします。お楽しみに！

人口・世帯数

男	29,506人	(-27)
女	31,568人	(-51)
計	61,074人	(-78)
世帯数	22,207世帯	(-10)

3月1日現在・カッコ内は前月比。
住民基本台帳による。

負けるな東北!! がんばれ東北!! 京丹後は全力で応援します

東北地方太平洋沖地震京丹後市災害支援対策本部

